

最少の経費で最大の効果を

新生成田の創造に 総額で623億円



平成17年度予算案が3月定例会市議会で可決されました。新年度予算については、厳しい財政事情の中でも市民生活に必要な予算を確保しつつ、新たなまちづくりを目指した予算編成を行いました。「新生成田の創造」を目指す、17年度当初予算と主要な事業についてお知らせします。

六つの重点目標を柱に

わが国の経済は、民間需要を中心に緩やかに回復を続けると見込まれ、雇用・所得環境は改善の兆しが見られるものの、個人消費については下落基調が続いており、緩やかなデフレ状況が継続するなど、依然として厳しい情勢にあります。

本市においても、税収の伸びは期待できない状況にあり、さらに国の三位一体の改革、県の厳しい財政状況を反映して国庫・県補助金の縮減により、今後の財政運営は一層厳しい状況が予想されます。

このような中、第四次行政改革大綱の推進に努めるとともに、最終年に当たる第六次総合五か年計画を中心に、『空港を活用したまちづくり』、『先進的な環境都市を目指したまちづくり』、『安全で安心して暮らせるまちづくり』、『活力ある観光・産

業のまちづくり』、『人材を育み、文化の振興を図るまちづくり』、『充実した保健・医療・福祉のまちづくり』の六つの重点目標に加え、『市町村合併によるまちづくり』を柱に各種事業の緊急性、優先度を考慮し、一層の経費節減を図るとともに、財政の健全性の確保と効率的な財政運営に考慮しながら、平成17年度予算を編成しました。

一般会計は1・4%の増

市の会計は、一般会計と、国民健康保険や下水道事業など特定の事業を行う二つの特別会計、それと水道事業を行う一つの企業会計で構成されています。

今年度の当初予算総額は623億1,826万円で、その内訳は、一般会計433億円、特別会計が5会計で164億8,896万円、水道事業会計が25億2,930

0万円となっています。前年度と比べると、一般会計で6億田(1・4%)の増額となりましたが、これは成田新高速鉄道アクセス事業および公津の杜小学校、美郷台小学校、久住中学校建設などの事業費が増加したためです。

歳入の半分は市税

歳入で一番大きな割合を占めているのが市税で244億2,065万円、全体の56・4%に上ります。市税は皆さんが納める税金で、市民税や固定資産税、軽自動車税などです。

次に多い国庫支出金は成田市が行う事業に対して、国が市に交付する補助金などで、昨年より8,184万円(2・1%)のマイナスとなっています。

3番目の市債は、建設事業などを行うために市が計画的に借り入れているお金

で、これも昨年に比べ3億1,130万円(7・8%)少なくなっています。

前年に比べマイナスまたは横ばいの項目が多い中で、「その他」が10億6,376万円(40・8%)の増加となったため、全体では6億田(1・4%)の増額となりました。

「その他」は繰入金などです。

歳出のトップは教育費

歳出では昨年3番目だった教育費が85億7,272万円(19・9%)でトップの金額となっています。昨年に比べ11億5,202万円(15・5%)増加ですが、これは前出の3校の建設によるものです。

2番目は昨年に続いて民生費で、78億4,156万円(18・1%)です。福祉や医療に使われる予算で、医療施設や子育て支援施設などの充実と、高齢者や障がい者福祉を向上させていきます。少子高齢化社会へと向かう中、年々増加している予算の一つです。

皆さんの生活に密着した道路や下水道公園などの整備を進める土木費は73億5,579万円(17・0%)でこれらに続きます。今年度中に開通予定の都市計画道路・郷部線やこれに接続する馬橋竹下線の整備、京成成田駅前地区の架空線地中化事業などを行います。

事業の内容については6・7ページの「重点目標別の主な事業」をご覧ください。

会計別予算の内訳

一般会計

433億円

一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。主な事業は6・7ページをご覧ください。

特別会計

164億8,896万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計をいいます。本市では次の5会計が設けられています。

- 国民健康保険65億7,998万円
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行います。
- 下水道事業23億8,627万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
- 公設地方卸売市場 ...2億5,564万円
青果物、水産物、生鮮食品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- 老人保健45億2,200万円
老人医療受給者に、医療費を給付することを目的としています。
- 介護保険27億4,507万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

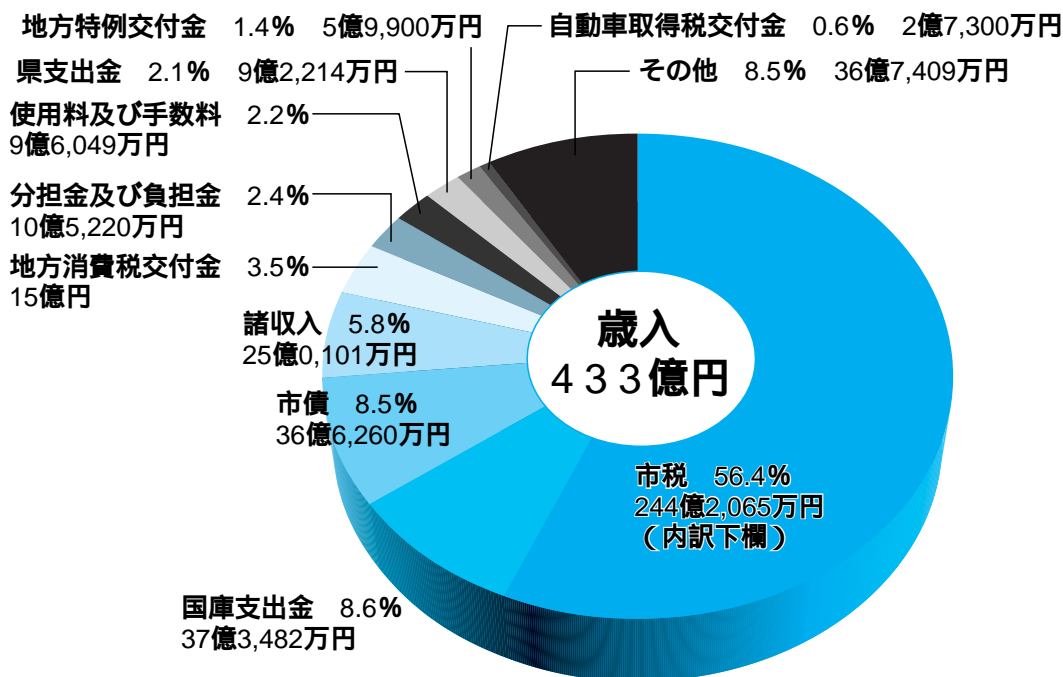
企業(水道事業)会計

25億2,930万円

企業会計として「水道事業会計」があります。

- ・水道事業収益(収益的収入)
.....18億2,564万円
- ・水道事業費用(収益的支出)
.....16億5,118万円
- ・資本的収入2億4,161万円
- ・資本的支出8億7,812万円

予算の内訳



市民一人が納める市税は約25万円です

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳は下欄のイラストが示すとおりです。これを一人当たりに換算すると24万6,593円になります。内訳のトップは固定資産税で152億9,695万円。次いで市民税78億1,322万円、市たばこ税9億9,719万円となっています。

予算 Q & A

Q 成田市の市民税は他市より高いと聞きましたが？

A 個人の市民税は、税を負担する人が均等に納める「均等割」と、所得に応じて収める「所得割」があります。

「均等割」については、平成15年度まで市町村の人口規模により年額2,000円、2,500円、3,000円の3段階になっていましたが、平成16年からは全て3,000円に統一されました。また、「所得割」の算出方法・税率も、標準税率と呼ばれる税率を適用していますので、ほぼ全国一律です。

このように、成田市が他市と比べて市民税が高いということはありません。

都市計画税
1億9,604万円

法人市民税
27億5,132万円

固定資産税
152億9,695万円

歳入に占める市税の内訳

その他市税(軽自動車税など)
1億2,915万円

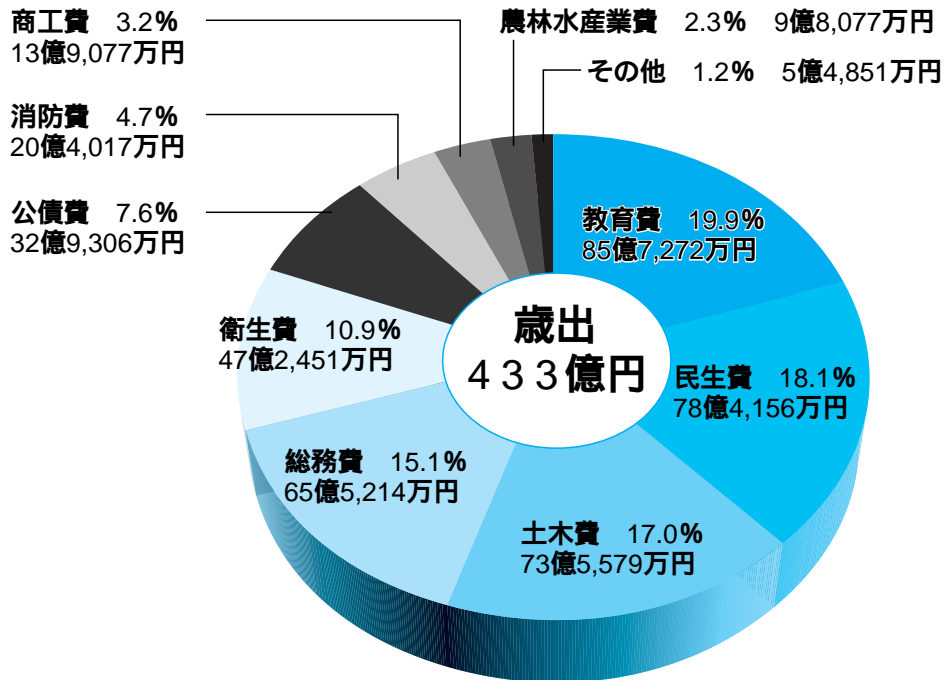
市たばこ税
9億9,719万円

個人市民税
50億5,000万円

市民一人当たりが負担する税額
.....246,593円

市税予算額 ÷ 平成17年3月1日現在人口(99,032人)

一般会計当初



市民一人に
約44万円使われます

市民の皆さんに今年度いくら使われる予定かを、下欄にイラストで示してみました。市民一人当たり43万7,232円になります。内訳で一番多いのは、教育費で8万6,565円、次いで民生費7万9,182円、そして土木費7万4,277円の順になっています。

市民一人当たりの負担額(税金)が24万6,593円で、使われるお金が43万7,232円ですから差し引き19万639円の不足となります。不足分については、国や県からの支出金や市債などで賄われます。

予算 Q & A

Q 予算はどうやって出来上がったのですか？

A 成田市では各担当課から予算の要求を受けて、財政課が聞き取りなどにより内容をよく把握し、検討した上で、消耗品や光熱水費などの経常経費についてはある程度確定させます。政策的経費については、課長、部長、市長の順に査定して決定します。

予算書ができるまでは約4カ月かかります。これを3月議会で審議し、可決されると正式に新年度予算が成立します。

市民一人当たりの歳出内訳

商工費...14,044円

公債費...33,252円

総務費...66,162円

民生費...79,182円

農林水産業費
.....9,903円

消防費...20,601円

衛生費...47,707円

土木費...74,277円

教育費...86,565円

その他...5,539円

市民一人当たりに使われるお金...437,232円
一般会計当初予算額(433億円)÷平成17年3月1日現在人口(99,032人)

3 安全で安心して暮らせるまちづくり

防災対策事業1,214万円
 総合防災・航空機災害訓練や防災用品の備蓄および新たに各避難所に非常用仮設トイレを配備します。

防犯啓発事業1,280万円
 防犯灯整備・維持事業5,718万円
 急傾斜地崩壊対策事業1億8,600万円
 橋梁耐震補強事業7,540万円
 準用河川整備事業1億2,795万円
 消防車両整備事業3,507万円
 消防水利整備事業8,902万円
 (仮称)公津分署整備事業1,236万円
 江弁須地先に消防分署を建設するため、実施設計を行います。



犯罪からまちを守る防犯パトロール

5 人材を育み、文化の振興を図るまちづくり

個性を生かす教育推進事業1億5,211万円
 久住中学校建設事業17億9,368万円
 平成18年度中の完成を目指し、用地の取得および校舎を建設します。

美郷台小学校建設事業6億6,954万円
 平成19年4月開校を目指し、校舎を建設します。

公津の杜小学校建設事業15億2,412万円
 平成18年4月開校に向けて、校舎および屋内運動場、プールを建設します。



工事が進む公津の杜小学校

外国人英語講師派遣事業6,004万円
 英語科研究開発事業6,218万円
 国際文化会館施設整備事業2,515万円
 全国高等学校総合体育大会開催事業9,366万円
 8月に開催される全国高等学校総合体育大会の柔道、ソフトボール、卓球の競技が本市で行われるため、運営経費の一部を負担します。

ITボランティア養成事業228万円

4 活力ある観光・産業のまちづくり

水田営農推進事業6,640万円
 農道整備事業7,000万円
 排水路整備事業1億9,200万円
 県営かんがい排水事業補助金4,305万円
 中小企業資金融資預託金10億円
 中心市街地活性化事業420万円
 表参道整備事業1億0,217万円
 上町地区のセットバック事業、仲町地区の重要保全建築物の補修費に対する補助を行います。

観光活性化推進調査事業400万円
 通年型観光地づくりを目指し、観光活性化推進調査を行います。



景観が整備された表参道

6 充実した保健・医療・福祉のまちづくり

保健福祉館管理運営事業7,394万円
 急病診療所事業1億0,202万円
 児童ホーム整備事業5,446万円
 平成18年4月開校予定の公津の杜小学校に併設する児童ホームの建設、平成19年4月開校予定の美郷台小学校に併設する児童ホームの基本・実施設計を行います。

児童ホーム運営事業7,574万円
 4月開所の吾妻児童ホームを含め10園について、保育時間を30分延長して午後7時まで運営します。

子育て支援事業2,530万円
 ニュータウンの「子ども館」に加えて、7月オープン予定の三里塚複合施設内に「子育て支援センター」を開設します。

成田赤十字病院増改築工事助成事業5億円
 障害者小規模福祉作業所運営費補助事業1,750万円
 高齢者等配食サービス事業4,478万円
 乳幼児医療対策事業1億2,044万円
 老人保健福祉計画策定事業500万円
 介護保険事業計画策定事業350万円



三里塚複合施設には子育て支援センターも

今年度行う重点目標別の 主な事業を紹介します

1 空港を活用したまちづくり

成田新高速鉄道アクセス事業	10億7,904万円
航空機騒音地域補助事業	5,834万円
民家防音家屋等維持管理費補助事業	2億5,738万円
成田空港周辺環境整備推進事業	1,800万円
芝山鉄道補助事業	6,000万円
騒音地域集会所建設費補助事業	1,000万円
都市計画策定事業	3,235万円
架空線地中化事業	1億2,351万円
京成成田駅西口広場約2,000m ² 及び並木町土屋線約160m区間の架空線を地中化します。	
久住近隣公園整備事業	5,150万円
郷部線整備事業(都市計画道路3・3・4号)	
.....	16億1,301万円
ニュータウンと国道51号を結ぶ総延長840m、平成18年3月完成を目指します。	
馬橋竹下線整備事業(都市計画道路3・4・8号)	
.....	2億3,294万円
郷部線と一体的に整備し、平成18年3月完成を目指します。	
ニュータウン中央線整備事業(都市計画道路3・3・3号)	
.....	2,000万円

2 先進的な環境都市を目指したまちづくり

コミュニティバス運行事業	6,300万円
騒音地区と市街地の公共公益施設を結ぶバスを運行し、市民の交通の利便を図ります。	
久住駅前駐輪場整備事業	2,504万円
三里塚複合施設管理運営事業	2,540万円
7月オープン予定のコミュニティセンターの機能を有する三里塚複合施設を管理運営します。	
新清掃工場整備事業	8,027万円
新たな清掃工場の建設に向けた、環境影響評価調査、施設整備計画及び関連付帯施設の基本構想を策定します。	
ISO14001認証取得事業	815万円
環境負荷の低減を図るため、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得します。	
公害調査事業	3,464万円
合併処理浄化槽設置整備補助事業	8,060万円
道路維持補修事業	5億7,349万円
市道整備事業	13億2,759万円
公津西特定土地区画整理事業	2億9,304万円
江川雨水2号支線整備事業	1億4,400万円



成田新高速鉄道の開通がもたれるウイング土屋地区



コミュニティバス



今年度中に完成予定の郷部線(囲護台側)

平成17年度予算についてくわしくは財政課
(☎20-1512)へ。